

# 粕谷一希 21世紀における情報の意味

本はどのように保存されているのか

国立国会図書館への関心

公文書館の再認識

情報の意味を問い直す

## 長尾 真 図書館の使命とは何か

文化遺産としての保存範囲と期間

IT時代の情報の保存と図書館

図書館はもつとシンクタンク的な方向か？

日本の頭脳としての図書館

## 菊池光興 公文書館とは何か

公文書館の「公」の意味

アーカイブズはなぜ重要か

——国民の権利と義務に直結するアーカイブズ

### 歴史のなかの図書館・アーカイブズ

「公共」のとらえ方

日本史のなかの文書館

アーカイブズの重要性の見直し

公とは何かを考え直す

図書館員は、読書人・知識人たれ

図書館の閉鎖性を破れ

公文書館を「ひらく」——歴史学の文書館からの脱却

公文書が歴史に果たす役割

### 情報化社会と図書館・アーカイブズ

情報とは何か

書物への愛

情報の選択

選書が図書館の核心

デジタル化とオリジナル

図書館とアーカイブズの相互浸透

文化施設全体の情報の共有——図書館・アーカイブズ・博物館の連携

日本的公共性とは

図書館員のステータス

研究に不可欠の図書館

### 図書館・アーカイブズの未来

本当の「ゆとり」とは——合理性・功利性の追求だけでよいのか

複数の視座の必要性

いかに発信していくか——検索サービスを越えて

シンクタンクの基盤としての図書館・アーカイブズ

「国家の品格」を体現する図書館・アーカイブズ